



厚生労働省 三重労働局発表

令和4年3月3日(木)

担	厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長	藤木 真保
当	職業安定課長補佐	堀 保
	地方労働市場情報官	辻村 尚人
		電話 059-226-2305

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(令和3年度第4・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和3年度第4・四半期(令和4年1月～3月)実績見込み及び次期(令和4年4月～6月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が26.2%で前期と比べ増加、「減少」が19.7%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は6.5で前期と比べ8.2ポイント上昇。次期見通しは8.3で上昇予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が20.3%で前期と比べ増加、「減少」が23.4%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は▲3.1となり前期と比べ9.6ポイント上昇。次期見通しは4.8で上昇予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が19.7%で前期と比べ増加、「減少」が16.4%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は3.3となり前期と比べ10.0ポイント上昇。次期見通しは10.0で上昇予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が18.8%で前期と比べ1.8ポイント減少、「ない」が46.9%で前期と比べ5.5ポイント減少。D I(「ある」-「ない」)は▲28.1で前期と比べ3.7ポイント上昇。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」は3.1ポイントで前期と比べ減少、「やや過剰」は3.1ポイントで前期と比べ減少、「不足」は9.4ポイントで前期と比べ増加、「やや不足」は21.9ポイントで前期と比べ増加。D I(「過剰」-「不足」)は▲25.1となり前期と比べ10.0ポイント下降(不足判断が増加)。次期見通しは▲30.1で「過剰」判断は減少の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所数は26事業所(40.6%)で、前期の29事業所(46.0%)より3事業所の減少。

○資料

別添 「令和3年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
- ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
- ・調査時期 令和3年度第4四半期（令和4年1月～3月）実績見込み及び次期（令和4年4月～6月）見通しについて
- ・モニター内訳 民間企業64社（建設業2、製造業47、運輸業2、小売業8、サービス業等5）事業主団体等8
- ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体

（注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

令和3年度 雇用情報モニター報告集計

令和3年度 第4・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

令和3年度第3・四半期（3年10月～12月 以下前期）においては、多くの指標のD Iがマイナスとなりましたが、令和3年度第4・四半期（4年1月～3月 以下今期）においては、多くの指標のD Iがプラスとなりました。

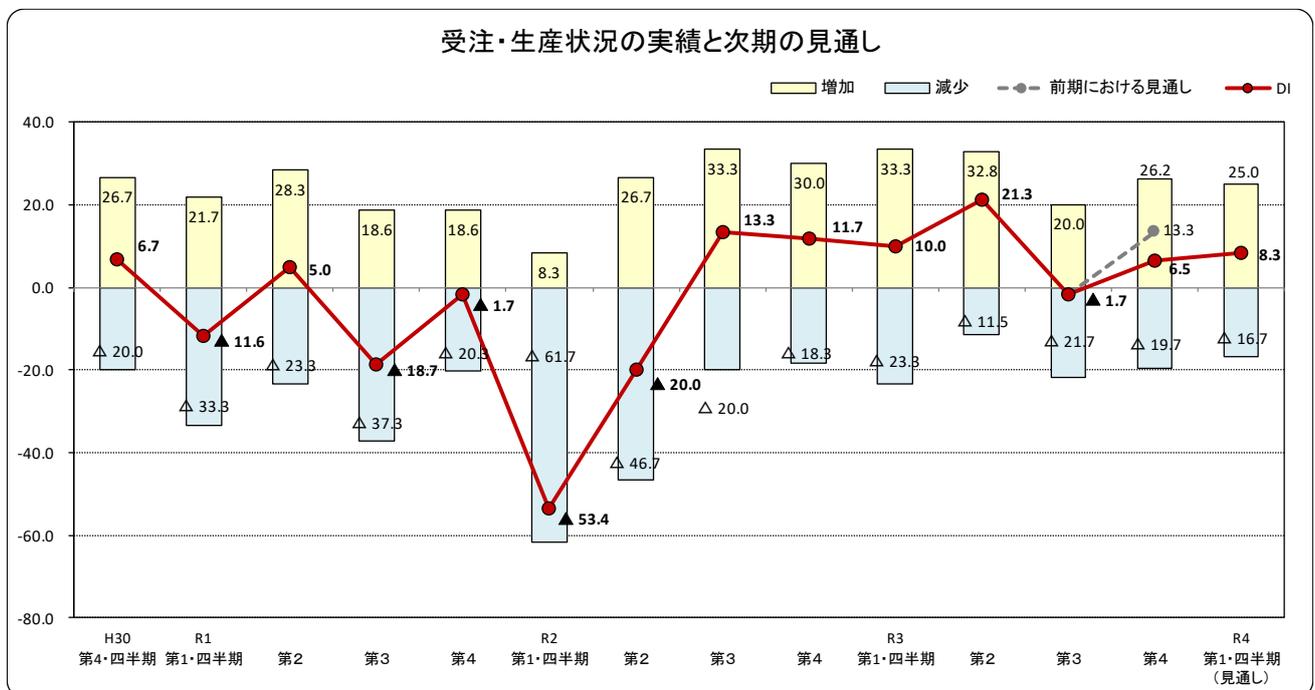
次期の予想においては、多くの指標で上昇の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が26.2%、「減少」が19.7%で、D I（「増加」－「減少」）は6.5で前期と比べ8.2ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

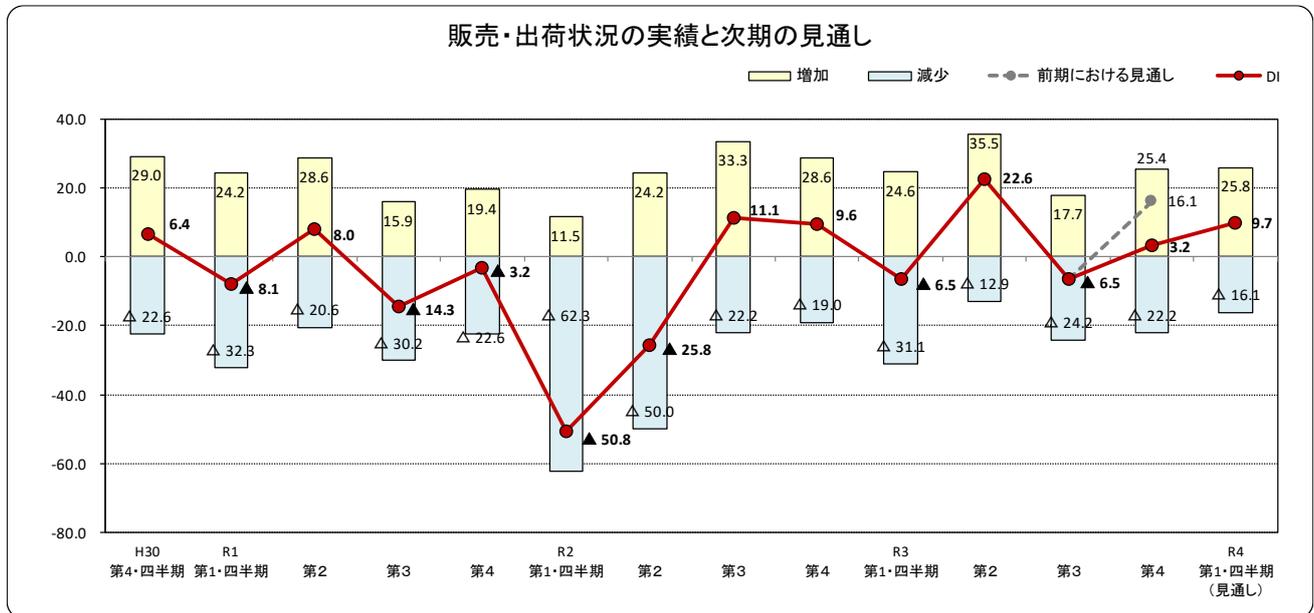
次期の見通しについては、D Iは8.3で、上昇する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が25.4%、「減少」が22.2%で、D I（「増加」-「減少」）は3.2で前期と比べ9.7ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

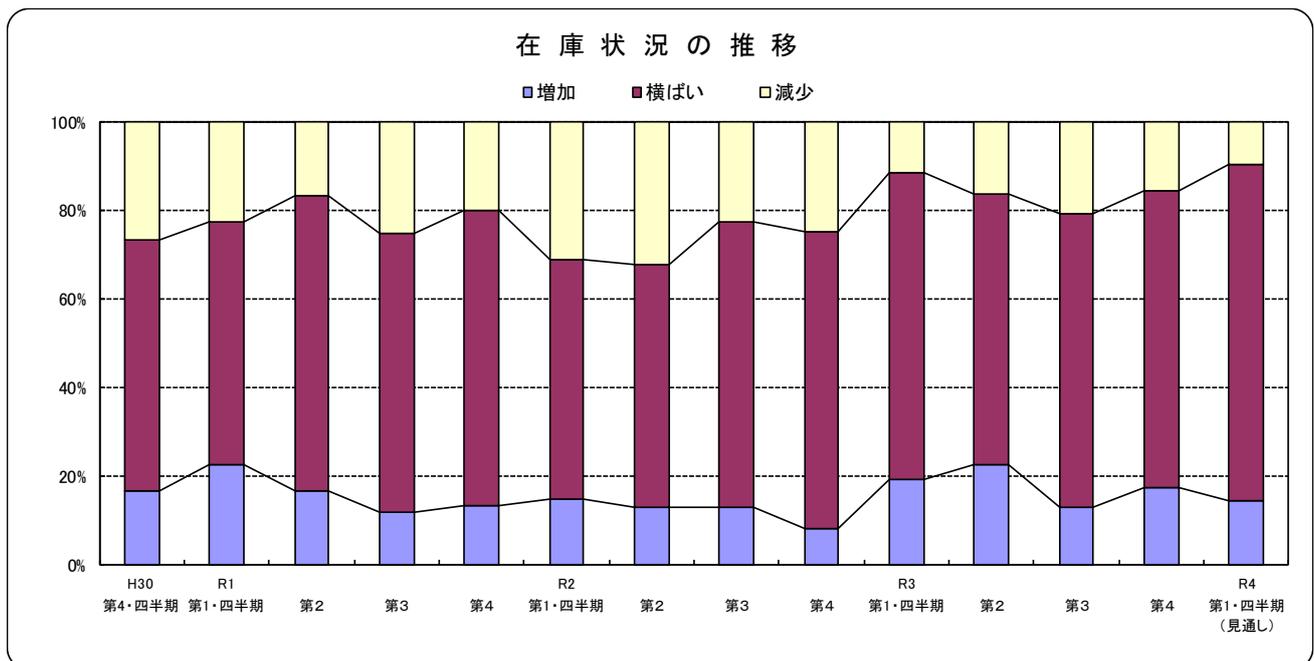
次期の見通しについては、D Iは9.7で、上昇する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が増加、「減少」が減少、48期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「増加」が減少し、「減少」が減少する予想となっています。

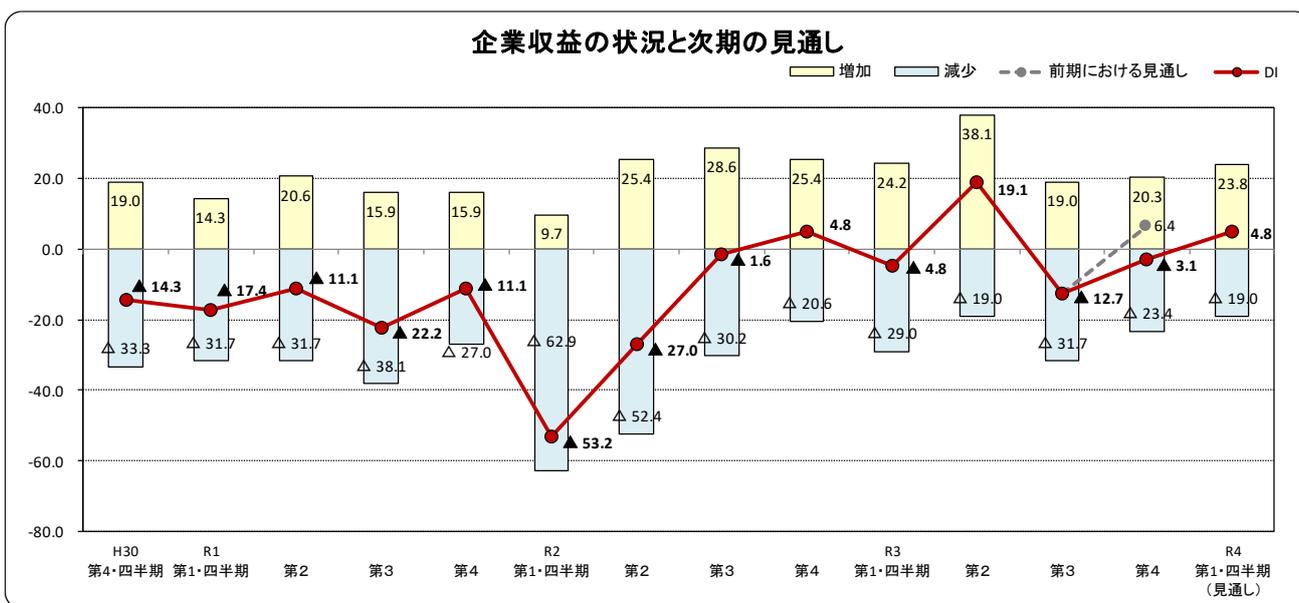


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が20.3%、「減少」が23.4%で、D I（「増加」－「減少」）は▲3.1となり、前期と比べ9.6ポイント上昇しましたが、2期連続でマイナスとなりました。

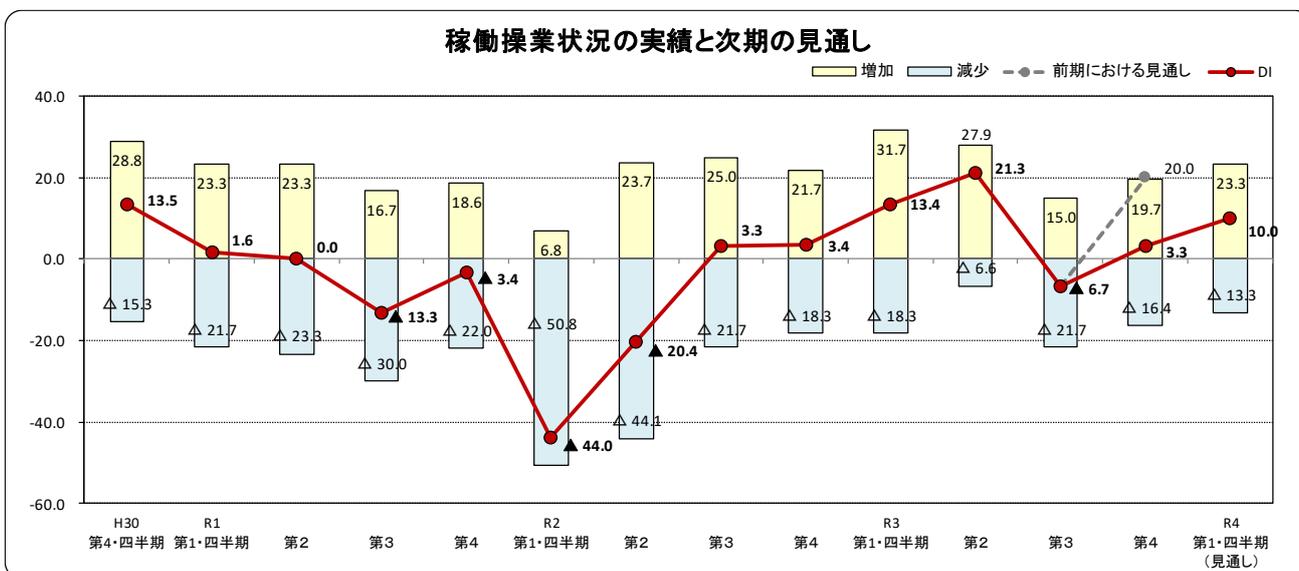
次期の見通しについては、D Iは4.8で、上昇する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

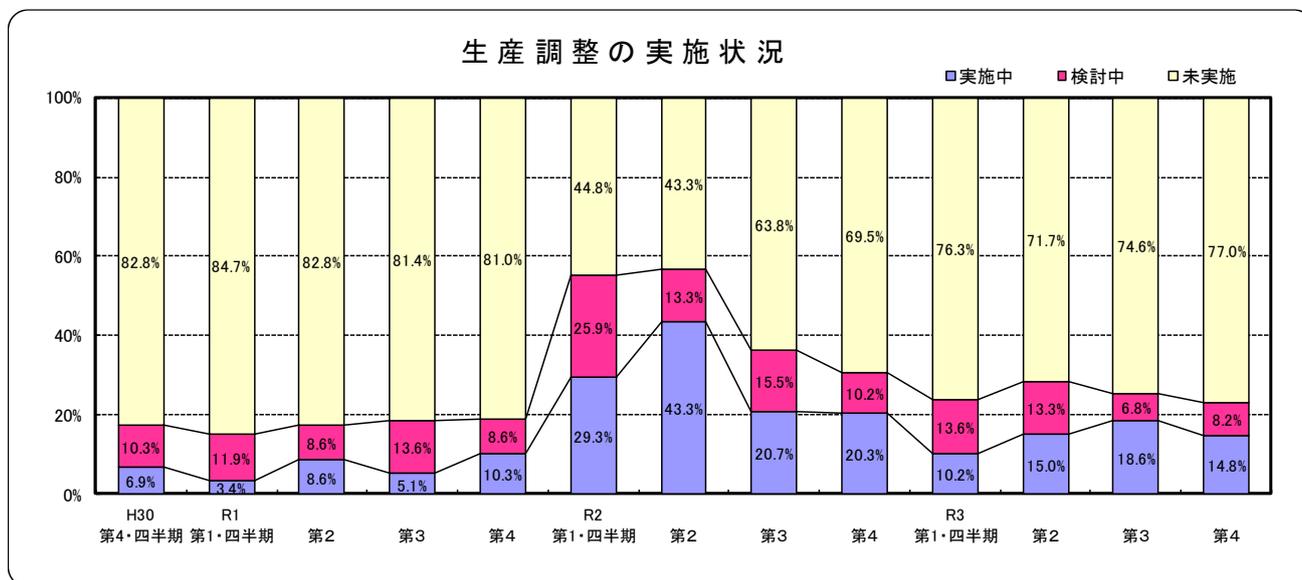
今期の稼働操業状況では、「増加」が19.7%、「減少」が16.4%で、D I（「増加」－「減少」）は3.3となり、前期と比べ10.0ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは10.0で、上昇する予想となっています。



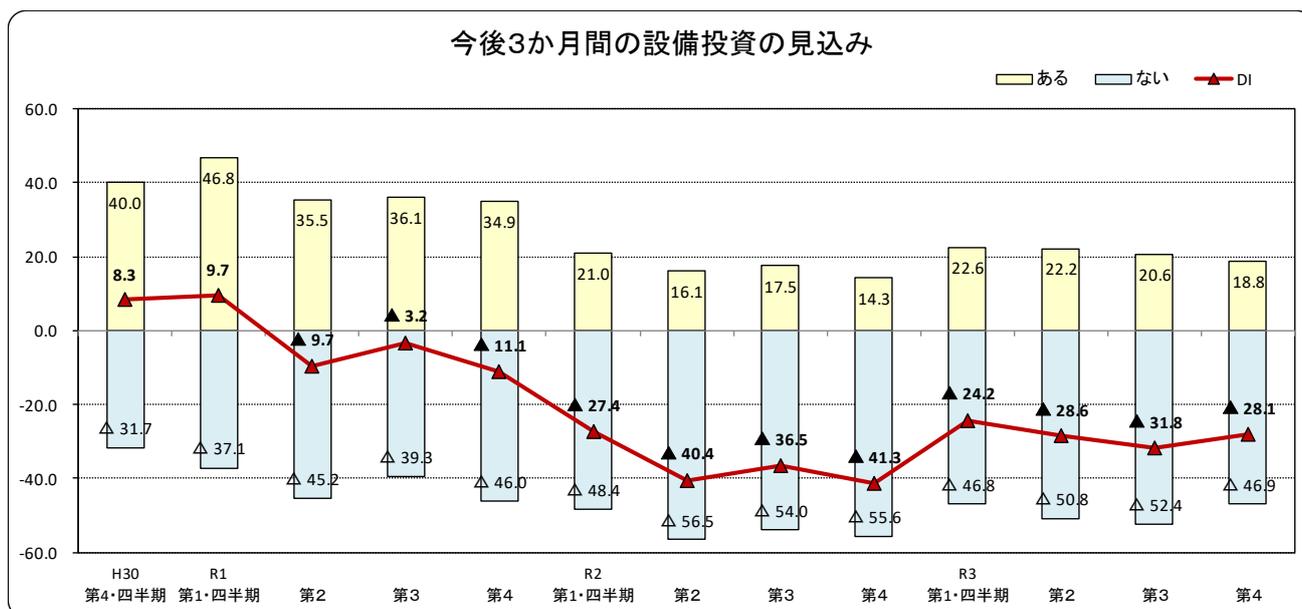
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は77.0%で前期と比べ2.4ポイント増加、「検討中」は8.2%で1.4ポイント増加、「実施中」は14.8%で3.8ポイント減少となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は18.8%で前期と比べ1.8ポイント減少、「ない」とする事業所の割合は46.9%で前期と比べ5.5ポイント減少、D I（「ある」-「ない」）は▲28.1となり、前期と比べ3.7ポイント上昇しました。

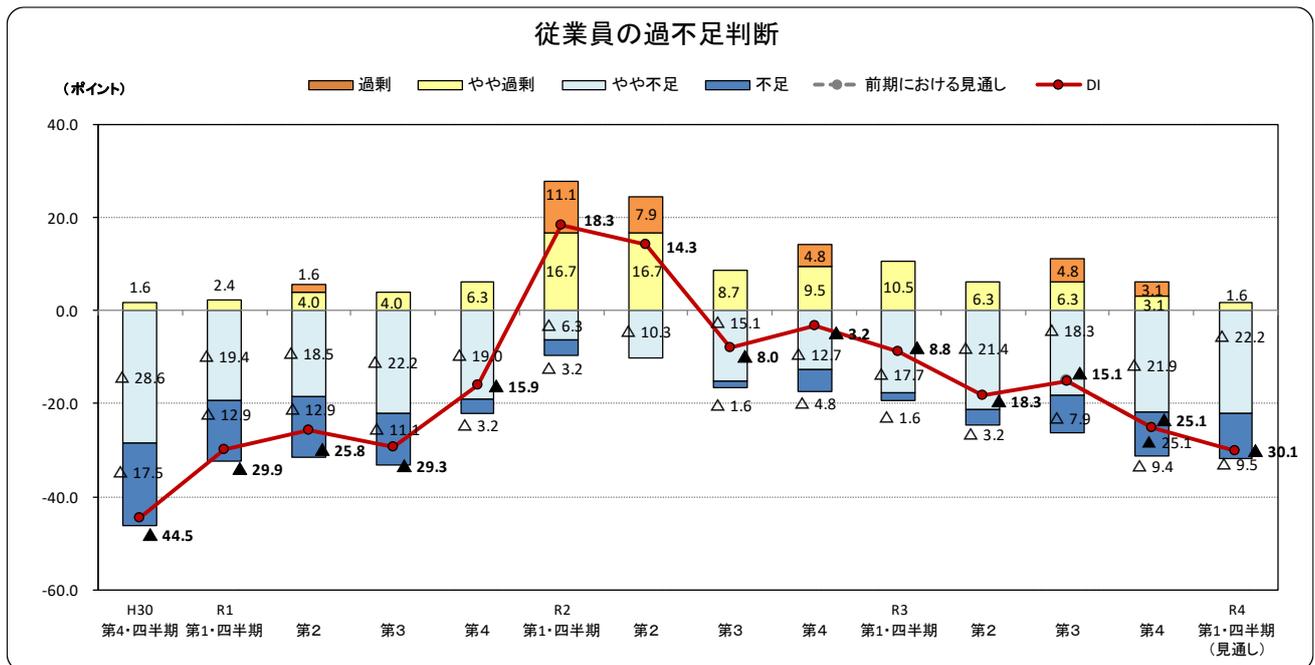


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」とする事業所は 3.1 ポイントで前期と比べ 1.7 ポイント減少、「やや過剰」とする事業所は 3.1 ポイントで前期と比べ 3.2 ポイント減少、「不足」とする事業所は 9.4 ポイントで前期と比べ 1.5 ポイント増加、「やや不足」とする事業所は 21.9 ポイントで前期と比べ 3.6 ポイント増加し、D I（「過剰」-「不足」）は▲25.1 となり、前期より 10.0 ポイント下降（不足判断が増加）し、6 期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

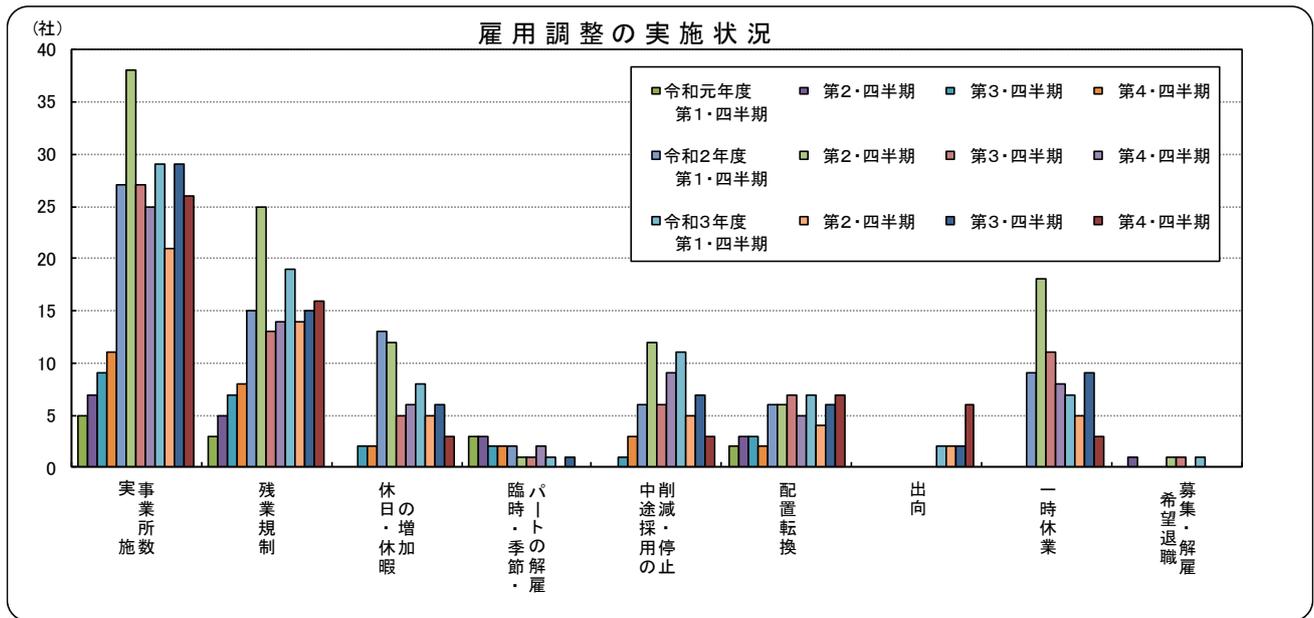
次期の見通しについては、D I は▲30.1 で、過剰判断が減少する予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は 26 事業所 (40.6%) で、前期の 29 事業所 (46.0%) より 3 事業所の減少となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
令和元年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1
第3・四半期	62	52	1	9	7	2	2	1	3	0	0	0
第4・四半期	62	51	0	11	8	2	2	3	2	0	0	0
令和2年度 第1・四半期	61	25	9	27	15	13	2	6	6	0	9	0
第2・四半期	59	18	3	38	25	12	1	12	6	0	18	1
第3・四半期	63	33	3	27	13	5	1	6	7	0	11	1
第4・四半期	62	34	3	25	14	6	2	9	5	0	8	0
令和3年度 第1・四半期	62	30	3	29	19	8	1	11	7	2	7	1
第2・四半期	63	34	8	21	14	5	0	5	4	2	5	0
第3・四半期	63	32	2	29	15	6	1	7	6	2	9	0
第4・四半期	64	32	6	26	16	3	0	3	7	6	3	0



<主なコメント>

- 職種によって人員の不足感があり、中途採用を実施しているが決まらない。（製造業）
- 前期はコロナ終息により客数も回復傾向であったが、今期は客数減となる。（宿泊業）
- 材料のコストが上がってきており、今後の収益圧迫の懸念事項となっている。（製造業）
- 設備投資の再開、生産設備の増強も追い風になり需要の回復は継続している。（製造業）
- 派遣社員を中心に増員募集するも深刻な人手不足に陥っている。（製造業）
- 資源、エネルギー価格上昇に伴う原料、電気料金の値上がりが収益を圧迫。（製造業）
- 大幅な生産調整などは実施しておらず、雇用については適正水準を維持。（製造業）
- 営業面では非常に厳しい状況が継続、収益面に大きく影響している。（小売業）
- 従業員の不足感は部署により生じており、人員的に非常に厳しい状況。（小売業）
- 業種にもよるが、多くの業種で売り上げ、採算性が悪化して厳しい状況。（事業主団体）
- 前期、今期ともは客先メーカー減産のため、受注生産ともに減少。今期挽回。（製造業）
- 原材料の高騰、重油、包装資材の高騰等により利益圧迫。（製造業）
- 雇用調整は閑散ラインから繁忙ラインへ応援シフト、社内調整で対応。（製造業）
- 休業、時短操業等を行っている事業所は減ってきたが、今後の動向が不安。（事業主団体）
- 3月の年度末に向けて、受注増を期待している。（製造業）
- 客先より計画外の受注があり、生販ともに増加した。（製造業）
- 技能実習生が入国制限により採用できない。求人募集を行うも、反応がない。（製造業）
- 半導体不足による減産の影響により、受注・生産・収益が減少傾向にある。（製造業）
- 燃料、原材料、資材など殆どで値上がりしており、企業の収益を圧迫。（事業主団体）
- オミクロンの感染拡大で在宅サービスの稼働に影響が出る可能性あり。（医療・福祉事業）
- 前期は予想を上回る売り上げ。受注・販売状況とも今期も断続と見ている。（製造業）
- 新型コロナの影響により不透明な状況が継続される見込み。（製造業・小売業）
- オミクロン株の影響を大きく受け、業績は大きく落ち込んでいる。（宿泊業）